

思い出の中の大連

多くの日本人にとって中国の「思い出の街」と言えば大連がまず思い浮かびます。

大連は東北三省のひとつ遼寧省第二の都市で、大連工業団地を中心に日系企業が集積し日本との関係が深いことから、大連に居住または一時滞在する日本人が大勢いることが一つの理由です。しかし、この街が懐かしい響きを持っているのは、戦前まで日本の満州経営の拠点であったことから、南満州鉄道(満鉄)本社や東京の上野駅に似た大連駅、ヤマトホテルや横浜正金(戦後は東京銀行が継承)など日本のアジア進出の象徴的な施設が建ち並んでいて、さながら横浜か神戸を思わせる景観を有していたことにあると思います。この街で生まれ育った日本人や永く暮らした日本人は大勢おり、例えば、大連生まれの詩人清岡卓行は戦前の大連の姿を小説「アカシアの大連」の中でロマンチックに描いています。

現在の大連は高層ビルが建ち並ぶ近代的な都会ですが、昔の大連の建物や施設が良い状態で保存され、現在でも使われているため、この街を訪れる人に懐かしい思いを抱かせるのかもしれない。

この街の中心には中山広場があり、緑豊かな広場をロータリーが取り囲むヨーロッパのような佇まいを見せています。これは日清戦争後の遼東半島を巡って起った「三国干渉」の結果、ロシアがその代償に大連を租借し、東清鉄道(その後の満鉄)の始発駅をここに設けるなど極東の拠点にするため、パリをモデルとして開発したためです。日本は日露戦争後、遼東半島と満鉄を手に入れ大連を満州の拠点としましたが、満州経営の中心に相応しく多くのレンガ造りの重厚な建物を建築し、アスファルト舗装道路や街路樹を整備した他、大連市内を取り囲む丘陵には住宅地を設けるなどの都市開発を行いました。その結果、大連は日本の都会に匹敵する景観を持つ街になりました。街路樹として植えられたアカシアはこの街のシンボルになり、毎年5月の花の季節にはアカシア祭りが催されています。アカシア祭りの季節は逃したものの、筆者が訪れた大連は市内のクラシックな景観もさることながら、住宅地がある丘陵は、横浜の山手(「港の見える丘公園」があるかつての外国人居住区)のようななだらかな坂道が街路樹の緑に縁取られ、木々の間から観る市内と海の景色が実にロマンチックでした。多分、中国で最もロマンチックな街の一つに数えられる大連は、多くの人々の思い出の中でも輝いているのではないかと思います。

大連の楽しみのもう一つは新鮮な海産物です。筆者は当時の同僚と共に日本人経営の海鮮レストランで食事する機会がありましたが、大きな生簀(いけす)から好きな魚を選ぶことができます。オコゼの刺身はここで初めて食べた記憶があります。隣接する日露戦争所縁の旅順(りょじゅん)と203高地と共に大連の街は日本人を魅了してやみません。

＜関連するファンドに関わる事項＞

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては各ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」を良くご覧下さい。

お客様には投資信託のご購入にあたり、以下の費用(税込)をご負担いただきます。

○申し込み時に直接ご負担いただく費用

- 申込手数料 上限 3.675%*

○換金時に直接ご負担いただく費用

- 信託財産留保額 上限 0.5%*

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 上限 2.1%*

○その他費用の詳細は各々の投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご確認下さい。

*費用の料率につきましては、HSBC 投信が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係る費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧下さい。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 308 号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社と言います)が情報提供を行う目的で作成したものであり、特定の投資信託等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は法令に基づく開示書類ではありません。当資料の全部又は一部の無断転載を禁じます。当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載された市場の見通し等は作成時点での当社の見解であり、今後予告なしに変更されることがあります。また、当資料に記載された当社の見解等は、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。